

第39回評価委員会

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場

生活環境影響調査報告書

概 要 版

表 1-2 モニタリング計画

調査目的	調査名	調査項目		調査地点数	調査箇所	調査頻度等	
処分場による生活環境保全上の支障の有無の把握	大気環境調査	大気環境基準項目 指針値設定項目	塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、ジクロロメタン、アクリロニトリル、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、水銀及びその化合物	2 地点	処分場内 村田町役場	年 1 回	
		その他項目	硫化水素、メタン、アンモニア				
	硫化水素連続調査	硫化水素、風向、風速		2 地点	処分場内敷地境界 村田第二中学校	通年 (30 秒毎に 24 時間連続測定)	
	放流水水質調査	排水基準項目	1,4-ジチオソルホン、水素イオン濃度 (pH)		1 地点	放流水採取地点	年 4 回
			鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)、フェノール含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガ含有量、大腸菌群数、ダクトリチン類				年 1 回
		その他項目	溶存酸素量 (DO)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率				年 4 回
	河川水水質調査	環境基準健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジチオソルホン		2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 4 回
鉛、砒素、ふっ素、ほう素			年 1 回				
環境基準生活環境項目		pH、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS)、溶存酸素量 (DO)		年 4 回			
		大腸菌数		年 1 回			
その他項目	アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率		年 4 回				
バイオモニタリング	AOD 試験 ^{*1} による半数致死濃度 (*1:水族環境診断法: Aquatic Organisms environment Diagnostics)		2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 1 回		
処分場内廃棄物により汚染された浸透水等の地下水の拡散又はそのおそれの把握	浸透水及び地下水水質調査	地下水等検査項目	鉛、砒素、1,4-ジチオソルホン	21 地点	浸透水 11 地点 No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b 地下水 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2 ※平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更	年 4 回	
			総水銀、六価クロム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、塩化ビニルモノマー、アルキル水銀、カドミウム、全シアン、ホリ塩化ビニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チオラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン			年 1 回 (浸透水のみ)	
		その他項目	BOD、pH、SS、ほう素、ふっ素、アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、電気伝導率、酸化還元電位			年 4 回	
			ダクトリチン類 (H16-1b を除く) 重炭酸イオン、硫化物イオン			年 2 回 年 1 回	
処分場の状況の把握	発生ガス調査	発生ガス	発生ガス量、メタン、二酸化炭素、硫化水素、酸素、孔内温度 (管頭下 1 m)、気象 (気温、気圧)	17 地点	No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2、7-4	月 1 回	
	地中温度調査	鉛直方向 1 m 毎の温度、帯水域の温度		10 地点	廃棄物埋立区域内 9 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15 廃棄物埋立区域外 1 地点 Loc.1a	年 2 回	
	地下水位調査	地下水位、降雨量		21 地点	廃棄物埋立区域内 11 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b 廃棄物埋立区域外 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、Loc.4、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2	通年 (1 時間毎に 24 時間連続測定)	
	多機能性覆土状況調査	硫化水素	多機能性覆土施工箇所 13 地点 A-1、A-2、A-3、A-4、A-5、A-6、B-1、B-2、B-3、B-4、B-5、B-6、B-7 多機能性覆土隣接地等 13 地点		26 地点	平成 22 年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点の周辺	年 1 回
	地表ガス調査				5 地点		

2 環境モニタリングの結果

2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング

2.1.1 大気環境調査

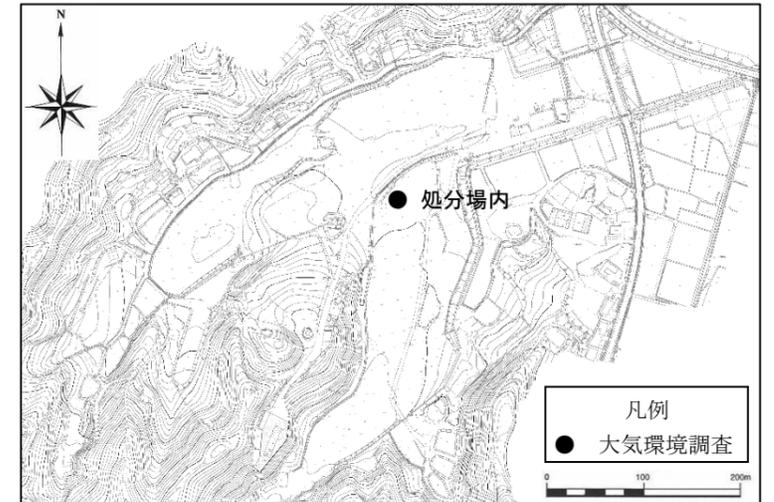
処分場の発生ガスによる生活環境保全上の支障の有無を把握するため、令和6年1月の1回、処分場内と対照地点（処分場から4 km以上離れた村田町役場）の2地点で大気環境調査を実施した。調査項目は13物質とし、環境基準が定められている4物質（ジクロロメタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）、指針値が定められている6物質（塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、アクリロニトリル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物）については、基準値や指針値及び対照地点と比較し、その他の3物質（硫化水素、メタン、アンモニア）については、対照地点と比較した。その結果は、次のとおりであった。

- 処分場内の調査地点における環境基準が定められている4物質の濃度は、いずれも環境基準を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 処分場内の調査地点における指針値が定められている6物質の濃度は、いずれも指針値を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 環境基準又は指針値が定められている10物質について、県内の有害大気汚染物質モニタリング地点（8地点）における令和3年度の測定結果と比較すると、ほぼ同程度の濃度レベルであった。
- 処分場内の調査地点における硫化水素濃度は、定量下限値※（0.0001ppm）よりもわずかに高い値が検出されたが、悪臭防止法に定める硫化水素濃度の規制基準として示される濃度範囲のうち最も厳しい濃度である0.02ppmを下回る値であった。
- 処分場の発生ガスが大気環境に及ぼす影響は、ほとんどないものと考えられる。

※ 炎光光度検出器（FPD）付ガスクロマトグラフによる測定における定量下限値

表 2-1 処分場の大気環境調査結果の濃度範囲

No.	測定項目 物質名	単位	環境基準 ・指針値	令和4年度まで		令和4年度下半期		令和5年度
				最小値	最大値	R4.10	R5.1	R6.1
1	塩化ビニルモノマー	μg/m ³	10	ND	0.15	ND	ND	ND
2	1,3-ブタジエン	μg/m ³	2.5	ND	0.20	0.029	(0.011)	(0.026)
3	ジクロロメタン	μg/m ³	150	0.24	8.1	0.34	0.33	0.42
4	アクリロニトリル	μg/m ³	2	ND	0.31	(0.011)	ND	(0.008)
5	クロロホルム	μg/m ³	18	0.04	0.34	0.12	0.094	0.12
6	1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	1.6	ND	0.31	0.045	0.069	0.097
7	ベンゼン	μg/m ³	3	ND	2.4	0.61	0.58	0.54
8	トリクロロエチレン	μg/m ³	130	ND	4.5	0.11	0.083	0.053
9	テトラクロロエチレン	μg/m ³	200	ND	0.35	(0.019)	ND	0.031
10	水銀及びその化合物	ngHg/m ³	40	0.90	4.5	1.4	1.2	1.4
11	硫化水素	ppm	-	ND	0.0023	0.0001	0.0004	ND
12	メタン	mg/m ³	-	0.99	6.0	1.6	2.5	2.7
13	アンモニア	ppm	-	ND	0.89	ND	ND	ND



備考

()内の数値は、検出下限値以上、定量下限値未満の濃度を示す。
 NDとは、検出下限値未満を示す。ただし、硫化水素、アンモニア、メタンは、定量下限値未満を示す。
 水銀濃度単位“ngHg/m³”は、金属水銀換算濃度を示す。(環境省の調査結果に示す濃度単位とした)
 []の数値は、環境省が定める基準値を示し、それ以外の数値は、指針値を示す。

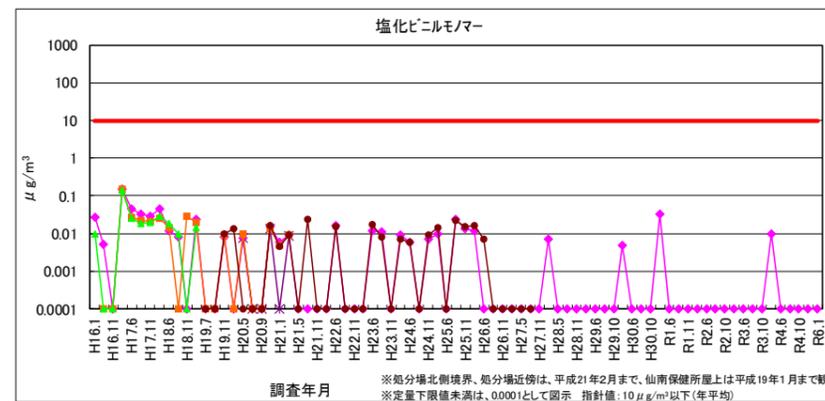


図 2-1 塩化ビニルモノマー



図 2-2 1,3-ブタジエン

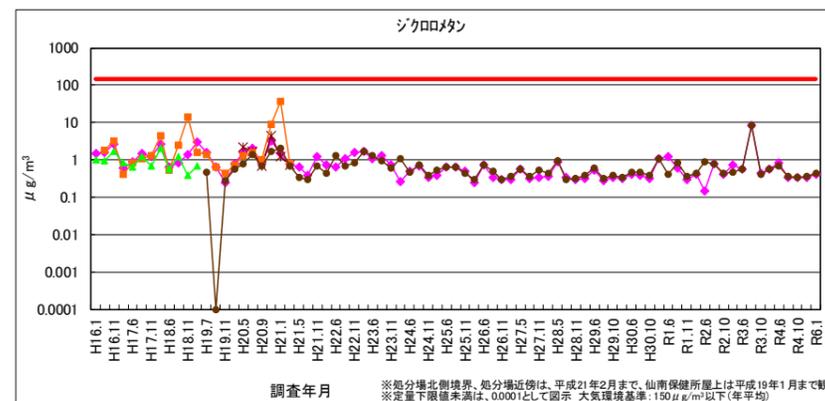


図 2-3 ジクロロメタン

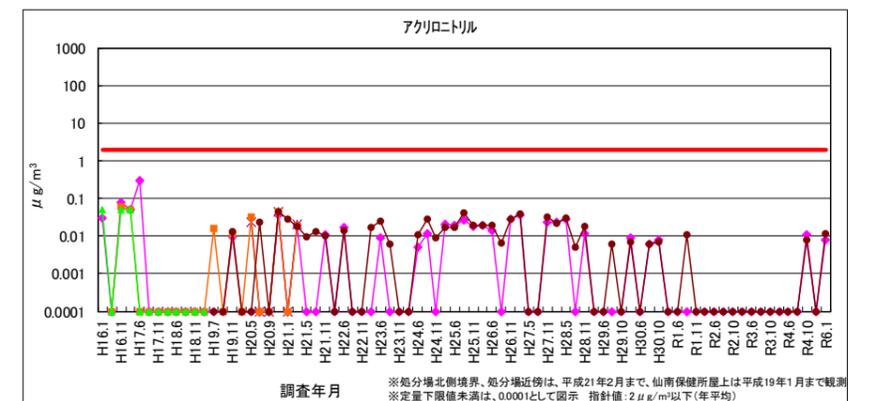
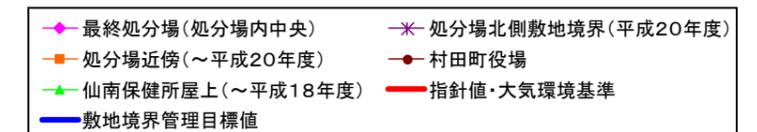


図 2-4 アクリロニトリル



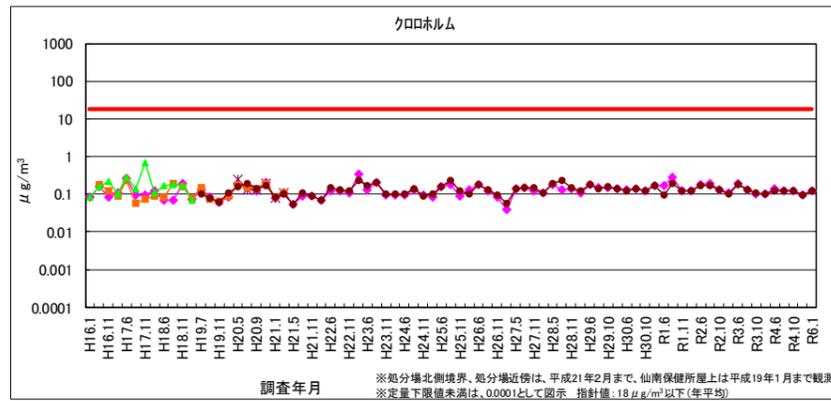


図 2-5 クロロホルム

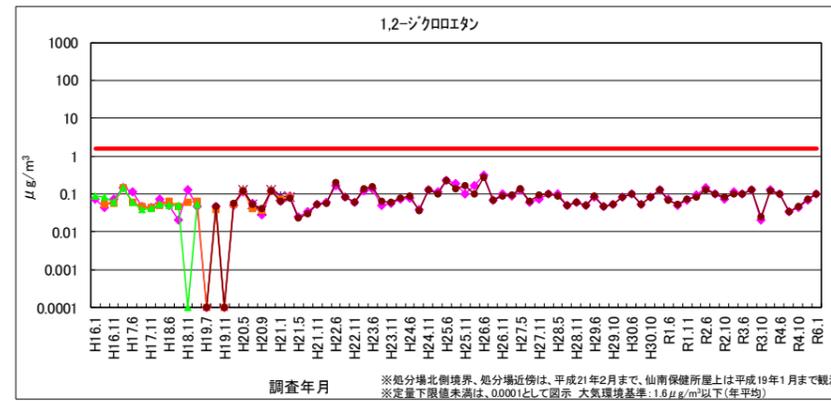


図 2-6 1,2-ジクロロエタン

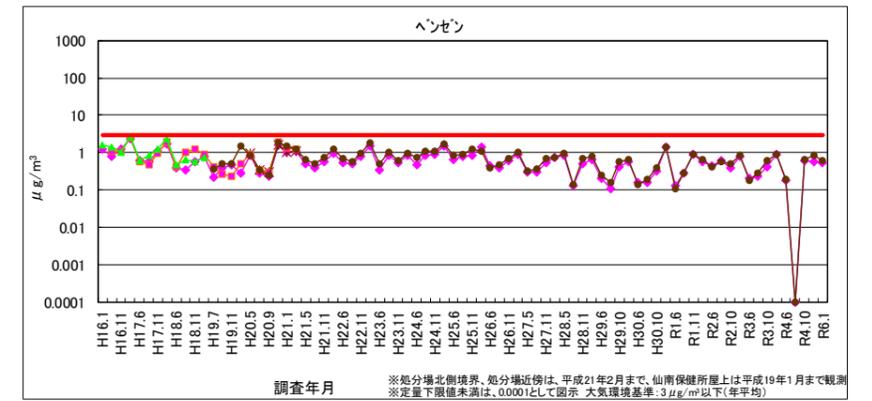


図 2-7 ベンゼン

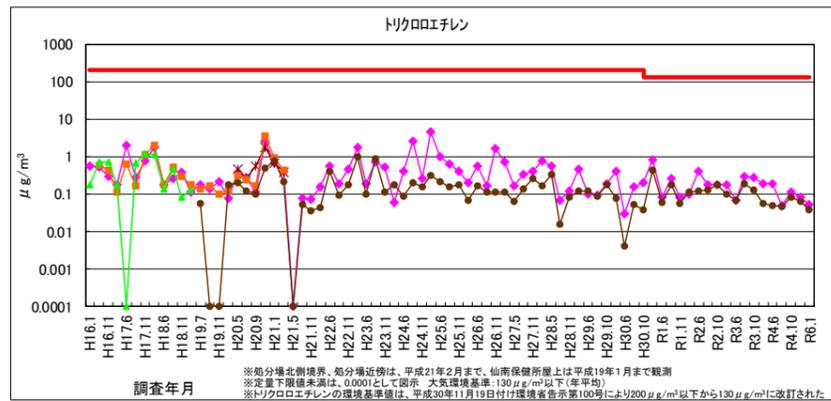


図 2-8 トリクロロエチレン

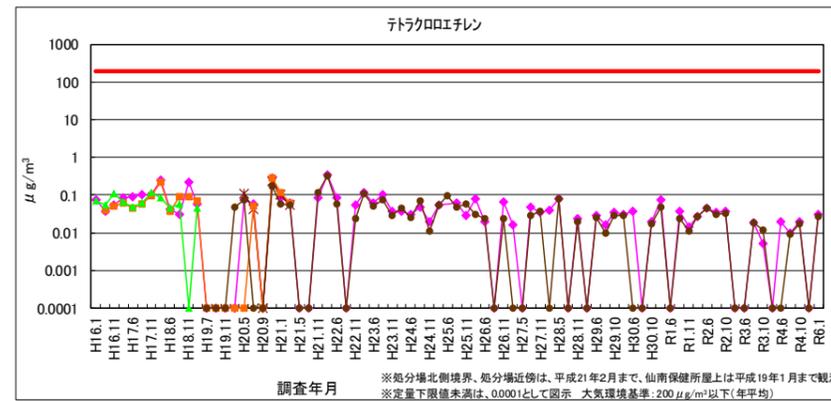


図 2-9 テトラクロロエチレン

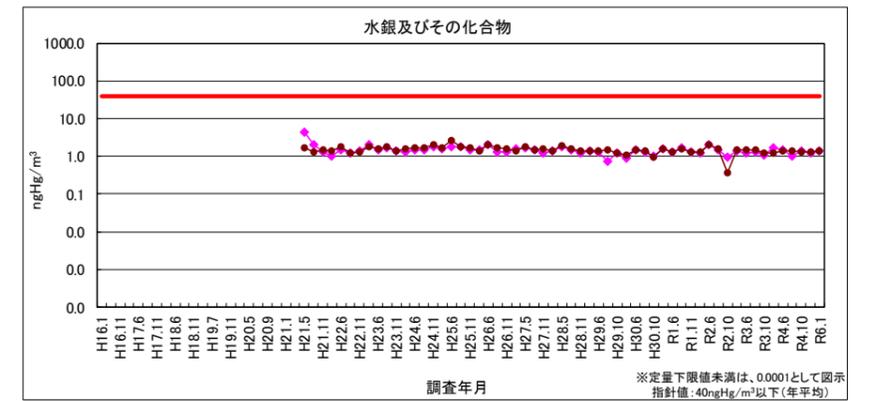


図 2-10 水銀及びその化合物

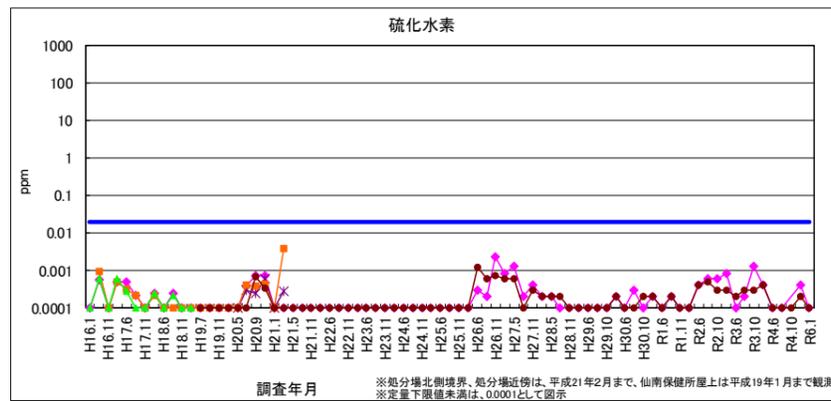


図 2-11 硫化水素

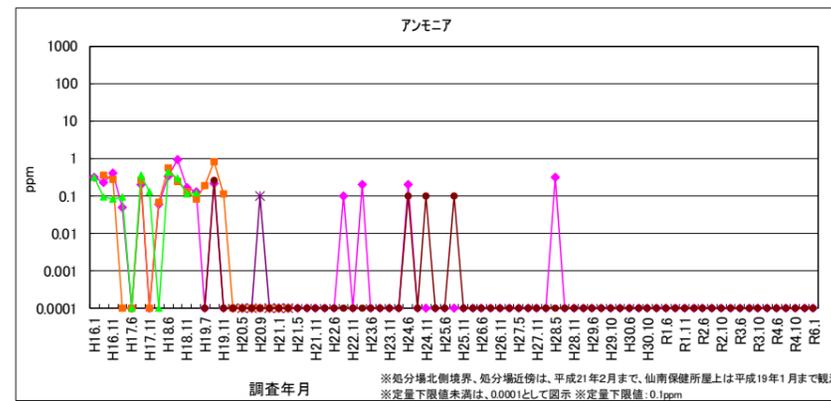


図 2-12 アンモニア

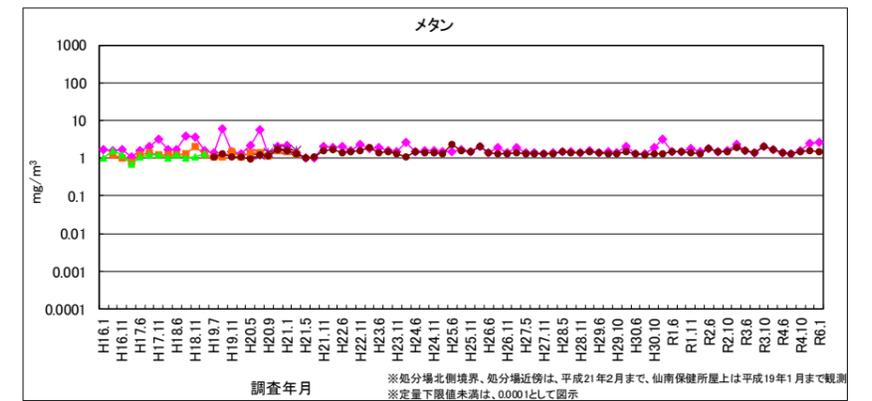
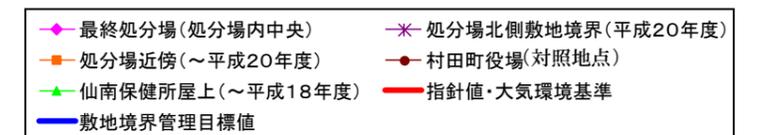


図 2-13 メタン



2.1.2 硫化水素連続調査

硫化水素による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、処分場の敷地境界 1 地点と村田第二中学校 1 地点の合計 2 地点において、調査期間中 30 秒毎に 24 時間連続で硫化水素を測定することとしている。

調査結果については、村田町竹の内地区は、悪臭防止法に基づく規制は適用されないが、この法令を準用し、硫化水素の規制基準として示される濃度範囲（臭気強度 2.5 (0.02ppm) ~3.5 (0.2ppm)) のうち最も低い（厳しい）濃度である 0.02ppm を管理目標基準濃度として処分場等の濃度と比較した。

- 両地点の全ての観測において、硫化水素の値は定量下限値※ (0.005ppm) を下回った。
- 平成 20 年 12 月以降から現在までの全ての観測で、基準濃度とした 0.02ppm を超えるような濃度は測定されておらず、目標値を満たす状況が継続している。

※ 高感度毒性ガスモニターによる測定（検知原理：検知テープ光電光度法）における定量下限値



図 2-14 硫化水素連続調査地点図

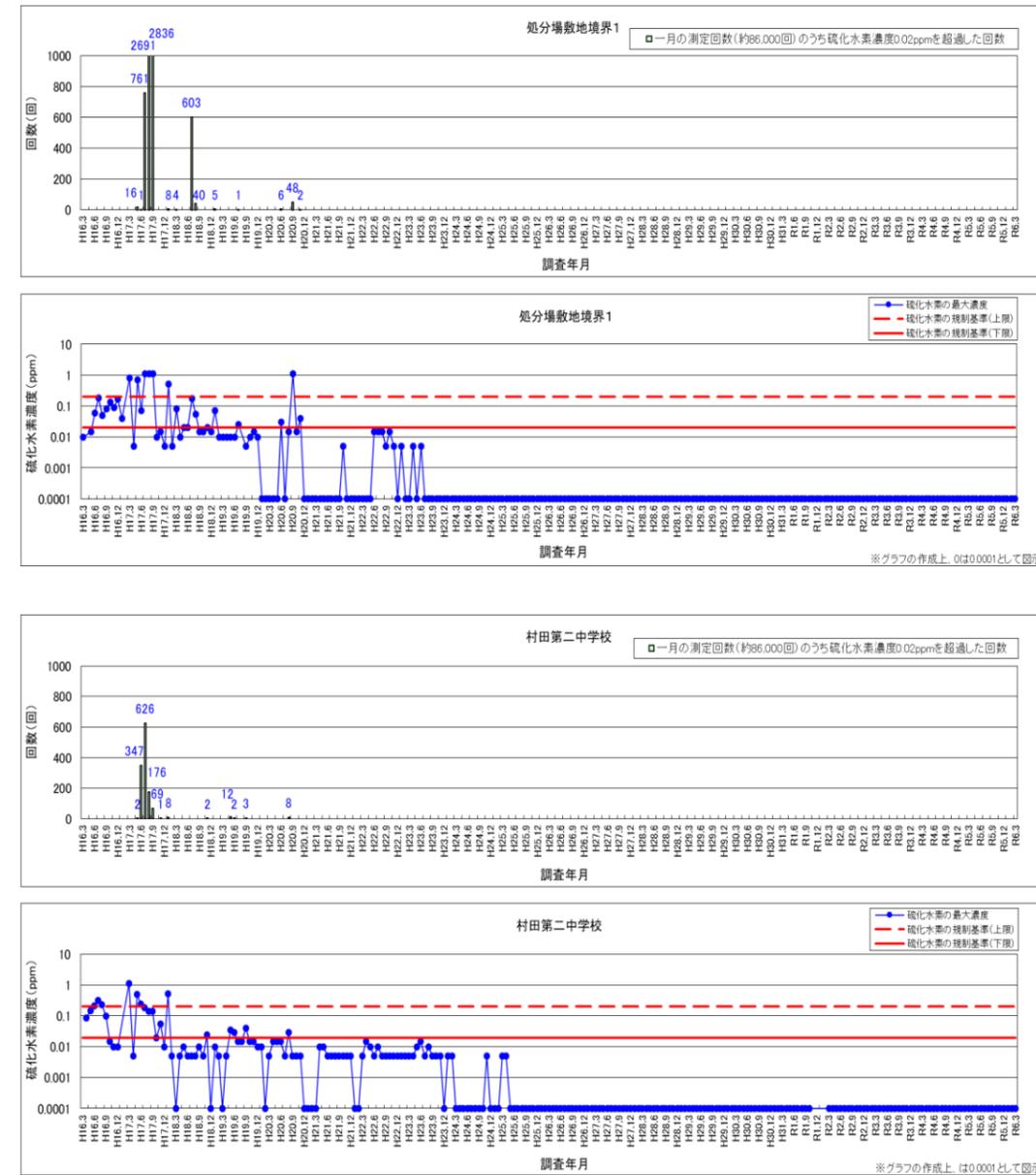


図 2-15 硫化水素連続調査結果図

2.1.3 放流水及び河川水水質調査

処分場からの放流水による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、放流水1地点と河川水2地点（放流水と河川水が合流する地点よりも上流側及び下流側）で令和5年12月、令和6年2月の2回、水質調査を実施した。結果は次のとおりであった。なお、ダイオキシン類については放流水1地点で7月に、測定回数を年1回とした放流水の15項目及び河川水の5項目については9月に実施した。

(1) 放流水

- 処分場からの放流水の水質は、準用する管理型最終処分場の放流水基準に適合していた。
- 浸透水の一部観測井戸で地下水等検査項目基準を超過したBODは放流水でも検出されたが、放流水基準には適合していた。

(2) 河川水

- 河川水の水質は、放流水の合流地点より上流側と下流側で同程度の値を示し、放流水が荒川の水質に及ぼす影響は概ねないものと考えられる。
- 浸透水の一部観測井戸で地下水等検査項目基準を超過したBODについて、河川水では定量下限値を超過して検出されたものの、上流側と下流側で同程度の値を示した。

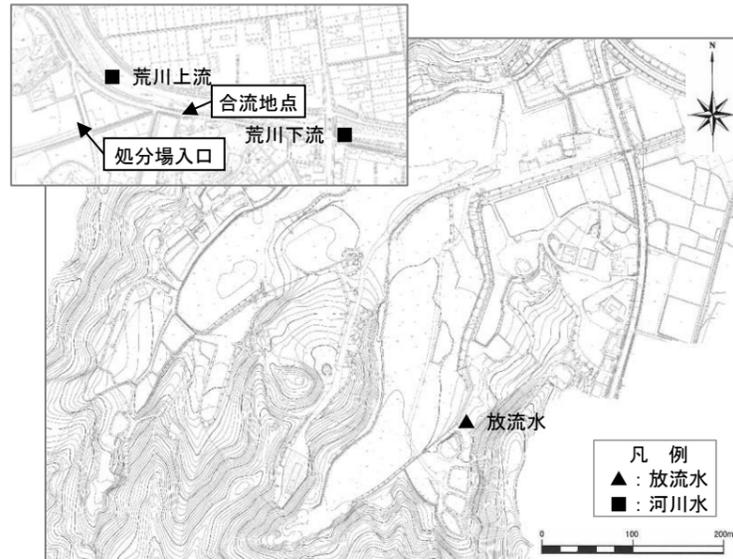


図 2-16 放流水及び河川水の水質調査地点図

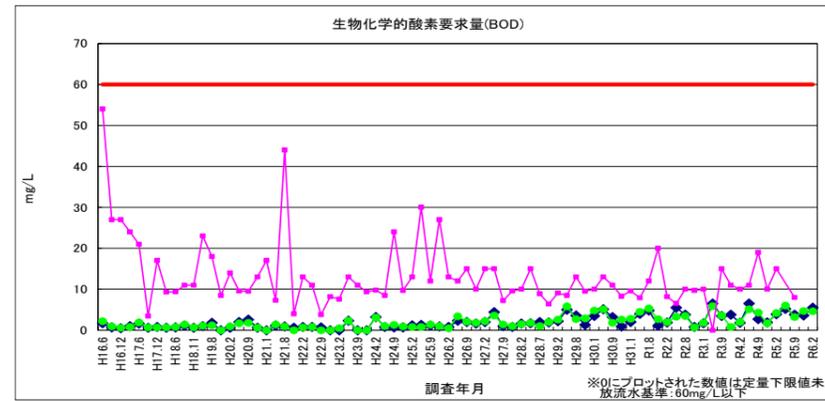


図 2-17 生物学的酸素要求量 (BOD) (放流水・河川水)

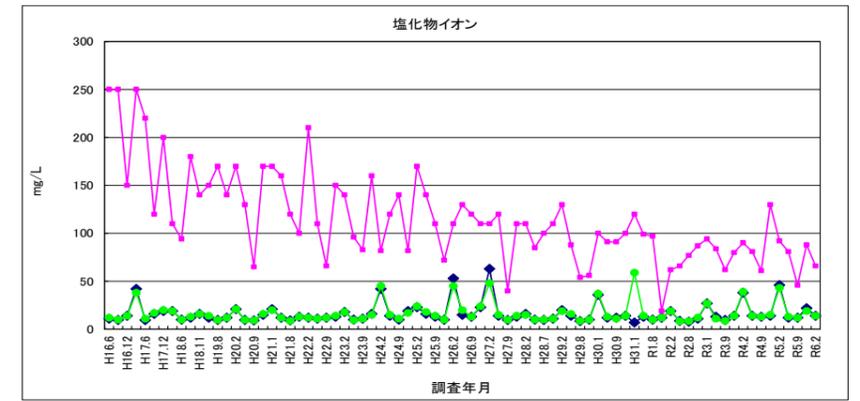


図 2-18 塩化物イオン (放流水・河川水)

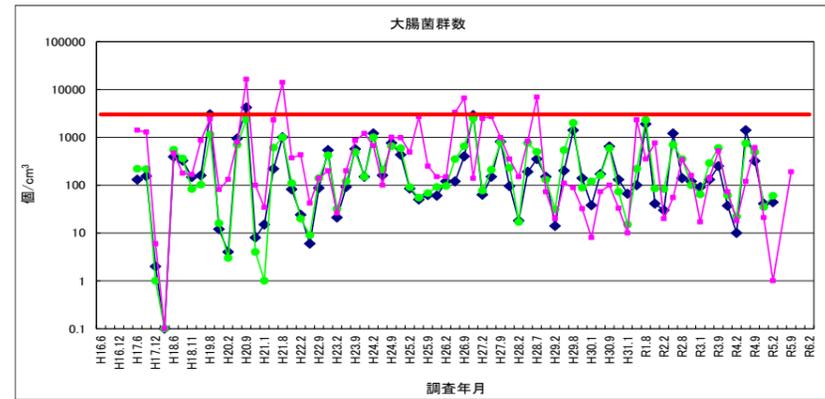


図 2-19 大腸菌群数 (放流水)

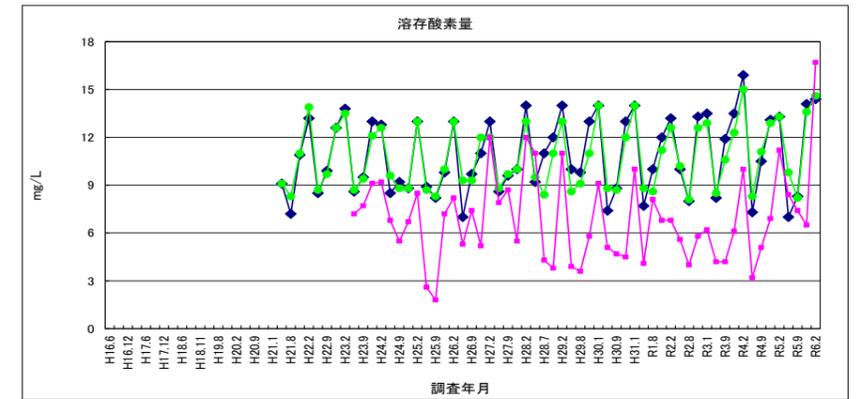


図 2-20 溶存酸素量 (放流水・河川水)

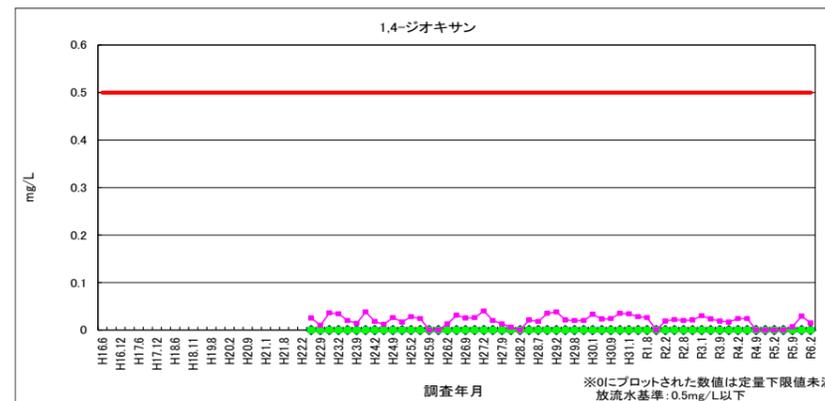


図 2-21 1,4-ジオキサン (放流水・河川水)

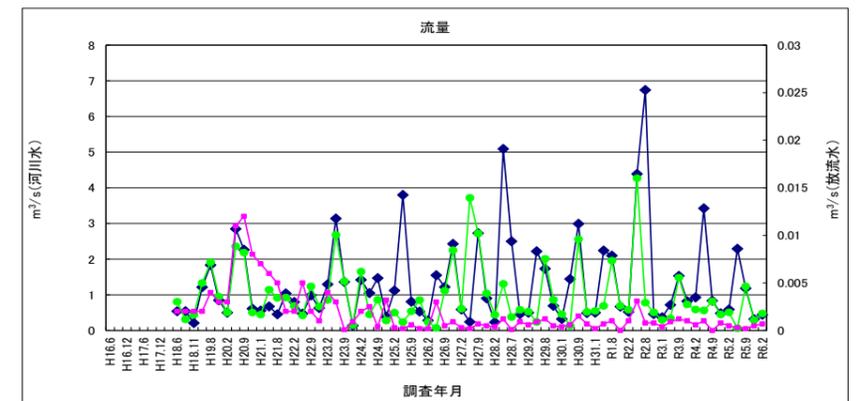
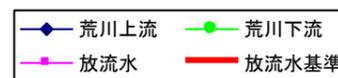


図 2-22 流量 (放流水・河川水)



2.1.4 バイオモニタリング

処分場からの放流水に含まれる物質による周辺環境への複合影響の確認のため、特に流下する河川の生物生息環境への影響を確認するため、魚類（アカヒレ）を用いた水族環境診断法（以下「AOD 試験」という。）を実施した。試験に当たっては、放流水が流下する荒川において、放流水が合流する地点よりも上流側及び下流側の河川水を採取し、5段階の濃縮倍率による河川水の半数致死濃度（以下「AOD 値」という。）を上流側及び下流側とで比較した。試験は令和5年12月に実施し、結果は次のとおりであった。

なお、この診断法において、AOD 値が 200%（河川水の 2 倍濃縮に相当）以下で魚類の生息限界とされ、AOD 値が 400%（河川水の 4 倍濃縮に相当）以上であれば、通常の河川での魚類の生育に支障がないとされている。

(1) 12 月調査

- AOD 値が荒川上流で 420%、荒川下流で 420%であった。
- 調査前日までの 7 日間の降雨状況は、3.0mm であった。また、調査当日の降雨量（24 時間）は 0.0mm であった。
- 調査地点及びその周辺で魚類の斃死が確認されていないことから、放流水の魚毒性は荒川の生物生息環境へ影響を及ぼさないレベルであったと考えられる。

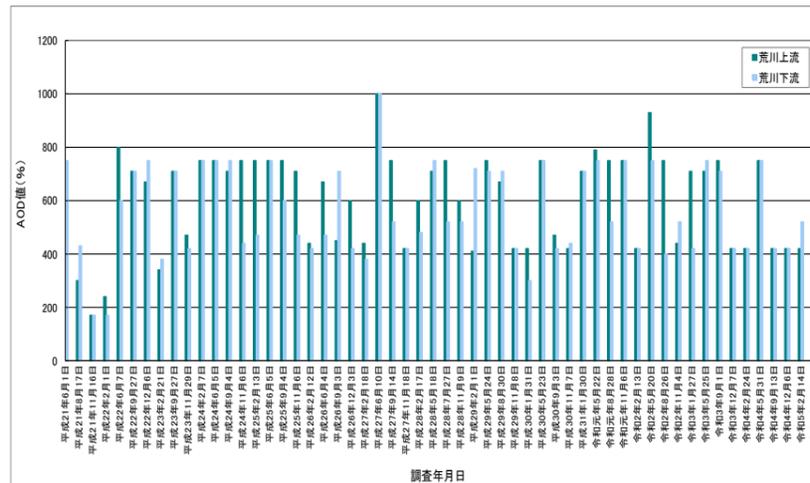


図 2-23 バイオモニタリング（AOD 試験）結果図

2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング

2.2.1 浸透水及び地下水水質調査

処分場内の廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれを把握するため、11 地点 (No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b) 及び処分場周辺の地下水観測井戸 10 地点 (Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2) 合計 21 地点で、令和 5 年 12 月、令和 6 年 2 月に水質調査を実施した。ダイオキシン類については 10～11 月に実施した。なお、測定回数を年 1 回とした 24 項目のうち 22 項目については、6 月に浸透水 11 地点で、他 2 項目については浸透水及び地下水の 21 地点で実施している。調査の結果は、次のとおりであった。

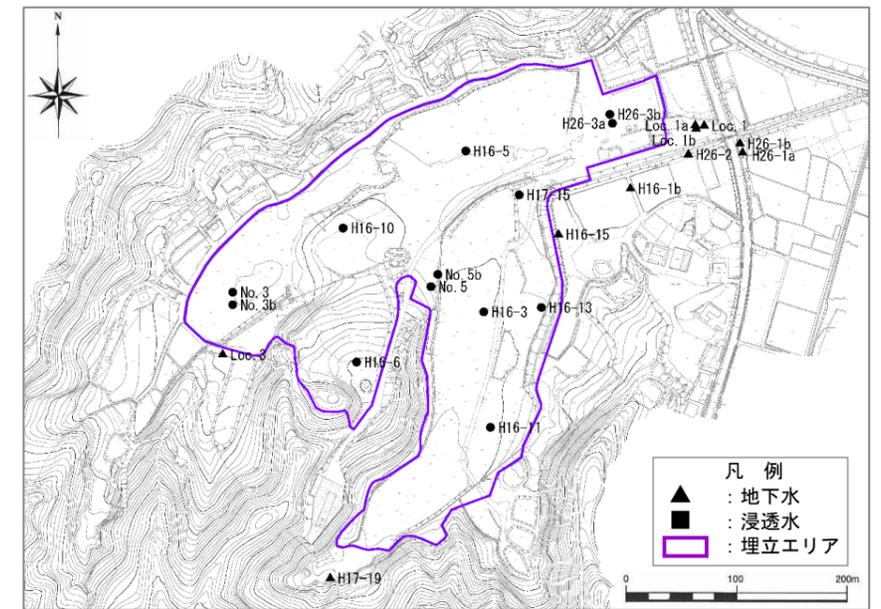
なお、地下水等検査項目基準とは、廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準をいう。

(1) 処分場内の浸透水

- 浸透水は、一部の観測井戸で BOD が地下水等検査項目基準を、ほう素及びふっ素が地下水環境基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- BOD については、6 地点 (No.3b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15) で地下水等検査項目基準に適合しなかった。
- 地下水等検査項目基準に適合しなかった BOD の経年変化をみると、No.3b、H16-3、H16-10、H17-15 は緩やかな増加傾向を示す。その他の地点については概ね横ばい傾向であった。
- ほう素については、6 地点 (No.3b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15) で地下水環境基準に適合しなかった。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。
- ふっ素については、6 地点 (No.5b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15) で地下水環境基準に適合しなかった。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。
- ダイオキシン類について、すべての地点で検出されているものの、0.036～0.69pg-TEQ/L と環境基準に適合していた。

(2) 処分場周辺の地下水

- 周辺地下水は、H17-19 で令和 6 年 2 月に鉛及び砒素が地下水等検査項目基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- 処分場内の浸透水で地下水等検査項目基準を超過していた BOD 及び地下水環境基準を超過していたほう素とふっ素については、周辺地下水ではいずれも基準に適合していた。
- ダイオキシン類について、すべての地点で検出されているものの、0.032～0.28pg-TEQ/L と環境基準に適合していた。



※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更

図 2-24 浸透水及び地下水水質調査地点図

表 2-2 浸透水の濃度範囲（令和 5 年度下半期）

分析項目	適応基準	単位	基準値	浸透水(令和5年度下半期)																										
				9工区		8工区				ビートストックエリア						6工区				4工区		2工区		1工区						
				H16-11		H16-3		H16-13		No.5		No.5b		H16-6		No.3		No.3b		H16-10		H16-5		H17-15		H26-3a		H26-3b		
				R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	
アルキル水銀	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総水銀	環境基準#1	mg/L	0.0005以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
カドミウム	環境基準#1	mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
鉛	環境基準#1	mg/L	0.01以下	0.003	0.004	0.006	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	0.006	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002				
六価クロム	環境基準#1	mg/L	0.05以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
砒素	環境基準#1	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.004	0.003	-	-	<0.001	<0.001	0.002	0.001	-	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001			
全シアン	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
トリクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
テトラクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ジクロロメタン	環境基準#1	mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
四塩化炭素	環境基準#1	mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,2-ジクロロエタン	環境基準#1	mg/L	0.004以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,1-ジクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,1,1-トリクロロエタン	環境基準#1	mg/L	1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,1,2-トリクロロエタン	環境基準#1	mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,3-ジクロロプロパン	環境基準#1	mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
チウラム	環境基準#1	mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
シマジン	環境基準#1	mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
チオベンカルブ	環境基準#1	mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ベンゼン	環境基準#1	mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
セレン及びその化合物	環境基準#1	mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
1,4-ジオキサン	環境基準#1	mg/L	0.05以下	0.008	0.007	0.007	0.005	0.033	0.025	-	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	-	-	0.009	0.01	0.009	0.014	<0.005	<0.005	0.012	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.025	
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)	環境基準#1	mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
生物学的酸素要求量 (BOD)	環境基準#2	mg/L	20以下	25	27	20	22	26	26	-	-	15	16	13	11	-	-	17	23	19	22	9.6	8.1	26	22	11	10	17	10	
ほう素	環境基準#2	mg/L	1 ⁴²	1.5	1.9	1.2	1.3	3.6	2.7	-	-	0.78	0.79	0.93	0.9	-	-	1.3	1.5	1.7	1.8	0.05	0.06	1.1	1.1	1.8	0.03	0.09	0.34	0.42
ふっ素	環境基準#2	mg/L	0.8 ⁴²	2.2	1.9	0.89	0.98	0.84	0.58	-	-	0.96	1.00	0.65	0.61	-	-	0.71	0.77	1.0	1.1	0.1	0.11	0.86	0.91	0.1	0.11	0.12	0.13	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	環境基準#3	mg/L	10 ⁴²	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	-	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	-	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	0.3	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準#3	pg-TEQ/L	1 ⁴³	0.20	0.14	0.69	-	-	-	-	-	0.037	0.13	-	-	-	-	0.11	0.036	0.45	0.054	0.049	0.34	-	-	-	-	-	-	

表 2-3 令和 4 年度までの浸透水の基準超過回数と濃度範囲

分析項目	適応基準	単位	基準値	浸透水(令和4年度までの全ての観測値)																																
				9工区		8工区				ビートストックエリア						6工区				4工区		2工区		1工区												
				H16-11		H16-3		H16-13		No.5		No.5b		H16-6		No.3		No.3b		H16-10		H16-5		H17-15		H26-3a		H26-3b								
				最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数			
アルキル水銀	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
総水銀	環境基準#1	mg/L	0.0005以下	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/34	0	0	0/34	0	0	0/8	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/57	0	0	0/33	0	0	0/33
カドミウム	環境基準#1	mg/L	0.003以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
鉛	環境基準#1	mg/L	0.01以下	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/34	0	0	0/34	0	0	0/8	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/57	0	0	0/33	0	0	0/33
六価クロム	環境基準#1	mg/L	0.05以下	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/34	0	0	0/34	0	0	0/8	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/57	0	0	0/33	0	0	0/33
砒素	環境基準#1	mg/L	0.01以下	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/34	0	0	0/34	0	0	0/8	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/57	0	0	0/33	0	0	0/33
全シアン	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	環境基準#1	mg/L	検出されないこと	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
トリクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.01以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
テトラクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.01以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
ジクロロメタン	環境基準#1	mg/L	0.02以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
四塩化炭素	環境基準#1	mg/L	0.002以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
1,2-ジクロロエタン	環境基準#1	mg/L	0.004以下	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/34	0	0	0/34	0	0	0/8	0	0	0/59	0	0	0/59	0	0	0/57	0	0	0/33	0	0	0/33
1,1-ジクロロエチレン	環境基準#1	mg/L	0.1以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
1,1,1-トリクロロエタン	環境基準#1	mg/L	1以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
1,1,2-トリクロロエタン	環境基準#1	mg/L	0.006以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
1,3-ジクロロプロパン	環境基準#1	mg/L	0.002以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
チウラム	環境基準#1	mg/L	0.006以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0/8	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/21	0	0	0/8	0	0	0/8
シマジン	環境基準#1	mg/L	0.003以下	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/23	0	0	0/16	0	0	0/16	0	0	0															

表 2-4 地下水の濃度範囲（令和 5 年度下半期）

分析項目	適応基準	単位	基準値	地下水(令和5年度下半期)																	
				上流側						下流側(南側)						下流側					
				H17-19		Loc. 3		H16-15		H16-1b		Loc. 1		Loc. 1a		Loc. 1b		H26-2		H26-1a	
R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2	R5.12	R6.2		
アルキル水銀		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総水銀		mg/L	0.0005以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カドミウム		mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉛		mg/L	0.01以下	<0.002	0.013	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002
六価クロム		mg/L	0.05以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素		mg/L	0.01以下	0.008	0.017	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.005	0.001	<0.001	<0.001
全シアン		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ポリ塩化ビフェニル(PCB)		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジクロロメタン		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四塩化炭素		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.004以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,2-ジクロロエチレン(シス体・トランス体の和)		mg/L	0.04以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チウラム		mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シマジン		mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チオベンカルブ		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベンゼン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セレン及びその化合物		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,4-ジオキサン		mg/L	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生物化学的酸素要求量(BOD)		mg/L	20以下	1.2	4.6	2.4	4	5	4.9	10	10	1.9	3.2	5.3	3.2	5.9	10	8.4	10	3.2	4.2
ほう素	地下水環境基準*2	mg/L	1 ^{*2}	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.34	0.45	0.02	0.02	0.12	0.15	0.10	0.12	0.08	0.1	0.05	0.07	0.02	0.02
ふっ素	地下水環境基準*2	mg/L	0.8 ^{*2}	<0.08	<0.08	0.09	0.1	<0.08	<0.08	0.2	0.16	<0.08	<0.08	0.09	0.09	0.09	0.1	0.09	0.09	0.12	0.12
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	地下水環境基準*2	mg/L	10 ^{*2}	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準*3	pg-TEQ/L	1 ^{*3}	0.28	0.051	0.15	-	-	-	0.032	0.035	0.069	0.12	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20

表 2-5 令和 4 年度までの地下水の基準超過回数と濃度範囲

分析項目	適応基準	単位	基準値	地下水(令和4年度までの全ての観測値)																							
				上流側						下流側(南側)						下流側											
				H17-19		Loc. 3		H16-15		H16-1b		Loc. 1		Loc. 1a		Loc. 1b		H26-2		H26-1a		H26-1b					
最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数				
アルキル水銀		mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総水銀		mg/L	0.0005以下	0	0.00012	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
カドミウム		mg/L	0.003以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉛		mg/L	0.01以下	0	0.014	1	0	0.083	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
六価クロム		mg/L	0.05以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
砒素		mg/L	0.01以下	0.001	0.068	12	0	0.007	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
全シアン		mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ポリ塩化ビフェニル(PCB)		mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ジクロロメタン		mg/L	0.02以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
四塩化炭素		mg/L	0.002以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.004以下	0	0.0005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.1以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,2-ジクロロエチレン(シス体・トランス体の和)		mg/L	0.04以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	1以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.006以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	0.002以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
チウラム		mg/L	0.006以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
シマジン		mg/L	0.003以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
チオベンカルブ		mg/L	0.02以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ベンゼン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
セレン及びその化合物		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,4-ジオキサン		mg/L	0.05以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)		mg/L	0.002以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生物化学的酸素要求量(BOD)		mg/L	20以下	0	6.1	0	0	4.2	0	1.5	27	2	3.6	1.3	24	1	3.6	0	3.5	0	3.6	0	3.9	0	5.6		
ほう素	地下水環境基準*2	mg/L	1 ^{*2}	0	0.12	0	0	0.16	0	0.03	0.16	0	0.36	0	0.06	0	0.36	0.03	0.16	0	0.36	0.04	0.19	0	0.57		
ふっ素	地下水環境基準*2	mg/L	0.8 ^{*2}	0	0.14	0	0	0.50	0	0	0.16	0	0.36	0	0.5	0	0.36	0	0.10	0	0.36	0	0.17	0	0.57		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	地下水環境基準*2	mg/L	10 ^{*2}	0	0.02	0	0	0.57	0	0	0.3	0	0.36	0	1.2	0	0.36	0	2.7	0	0.36	0	2.5	0	5.7		
ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準*3	pg-TEQ/L	1 ^{*3}	0.063	0.85	0	0	0.23	0	0.087	0.62	0	1.8	1.3	1	1	0.030	0.17	0	1.8	0.035	0.66	0	2.8			

- *1 地下水等検査項目基準：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和 52 年 3 月 14 日総理府・厚生省第 1 号）別表第二等
- *2 地下水環境基準：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成 9 年 3 月 13 日環境庁告示第 10 号）別表
- *3 ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準（平成 11 年 12 月 27 日環境庁告示第 68 号）別表を準用。
- *4 数値 0 は定量下限値未達を示す。

※基準値超過回数/測定実施回数
基準超過1~9回
基準超過10~19回
基準超過20

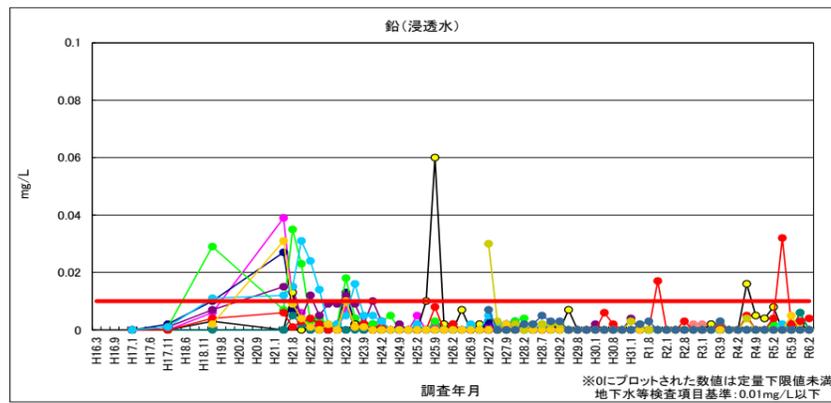
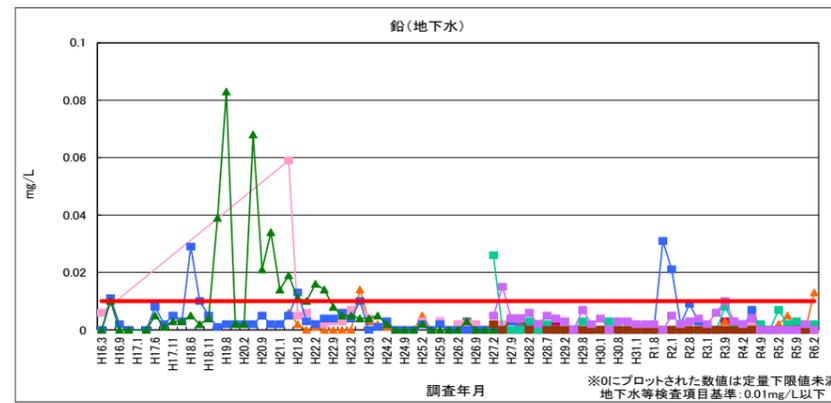


図 2-25 鉛 (浸透水)



※Loc.1bの平成18年8月以前と、Loc.3の平成19年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 2-26 鉛 (地下水)

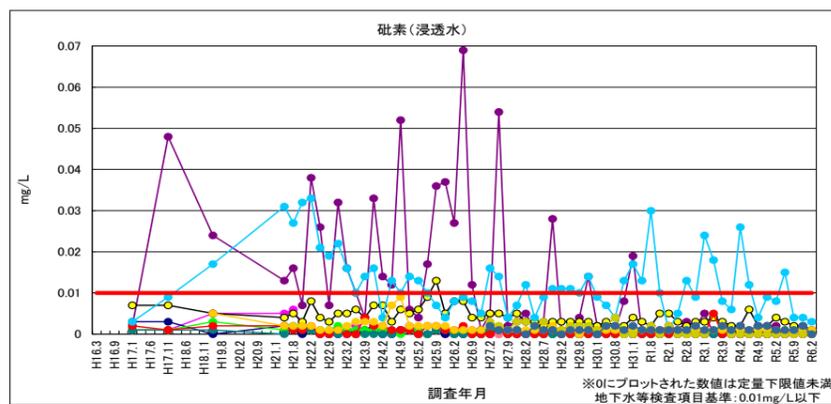
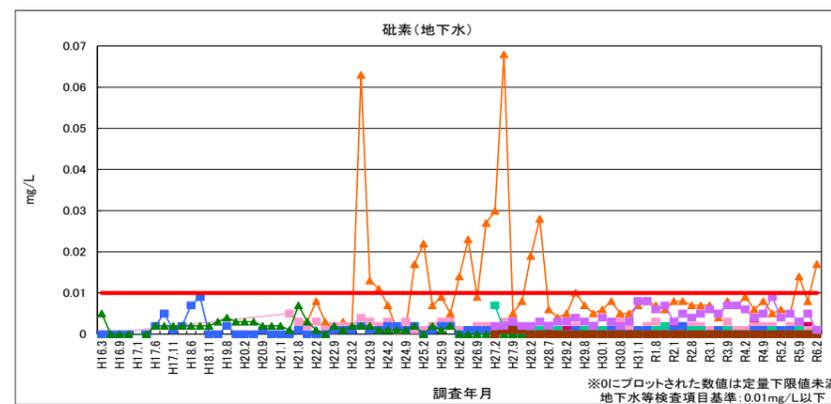


図 2-27 砒素 (浸透水)



※Loc.1bの平成18年8月以前と、Loc.3の平成19年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 2-28 砒素 (地下水)

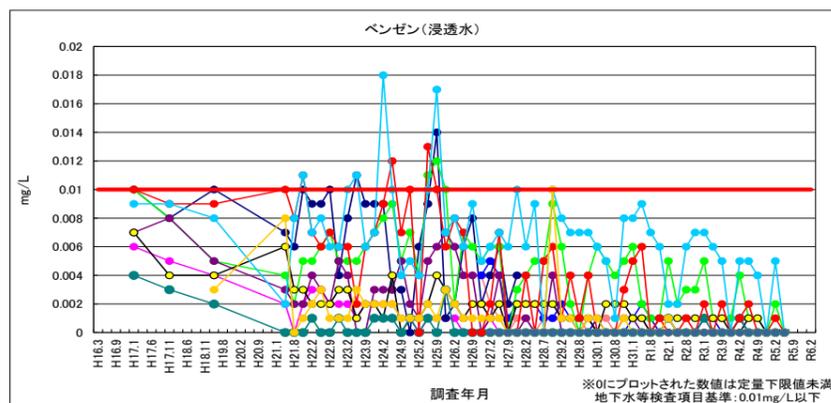
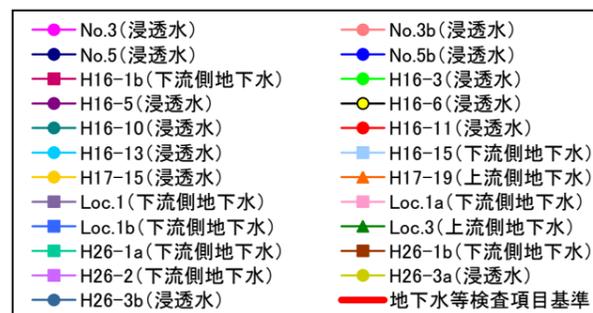


図 2-29 ベンゼン (浸透水)



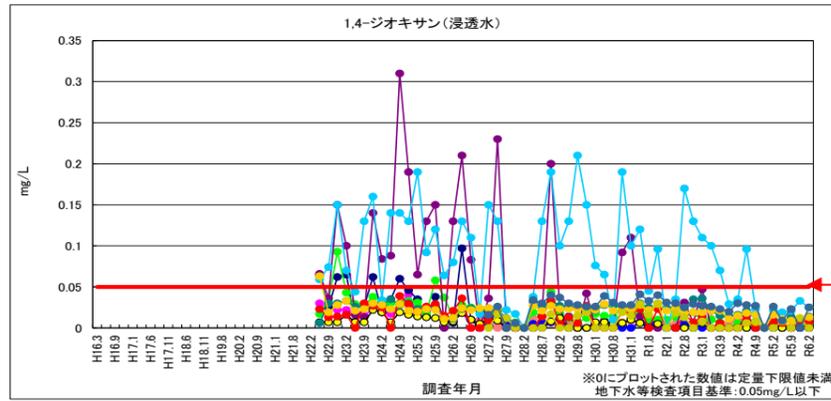


図 2-30 1,4-ジオキサン（浸透水）

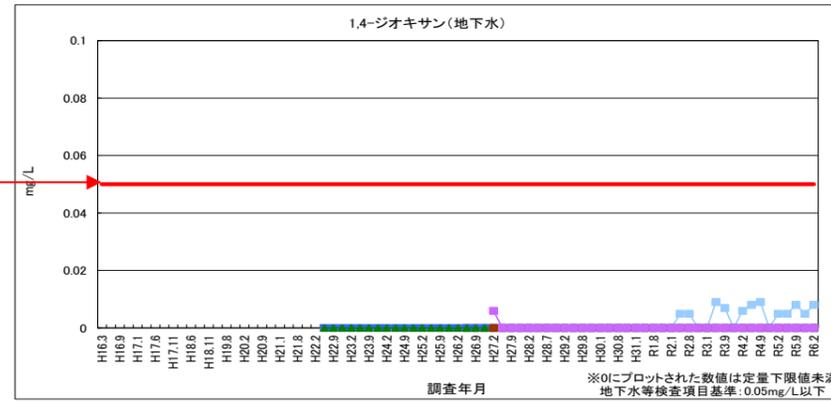


図 2-31 1,4-ジオキサン（地下水）

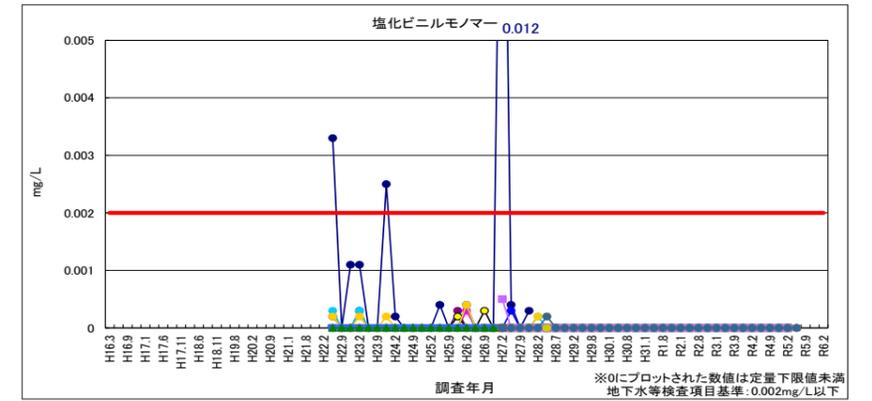


図 2-32 塩化ビニルモノマー（浸透水・地下水）

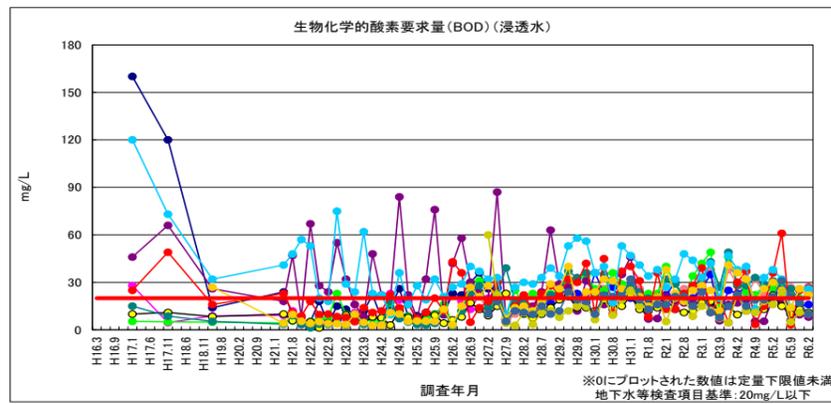


図 2-33 生物化学的酸素要求量（BOD）（浸透水）

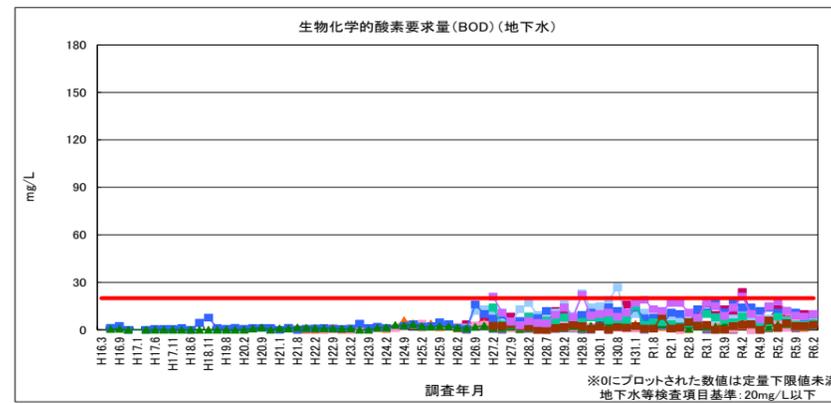


図 2-34 生物化学的酸素要求量（BOD）（地下水）

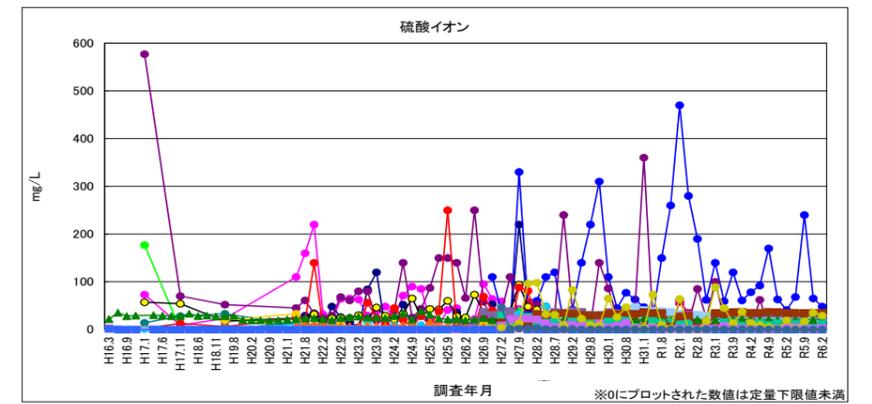


図 2-35 硫酸イオン（浸透水・地下水）

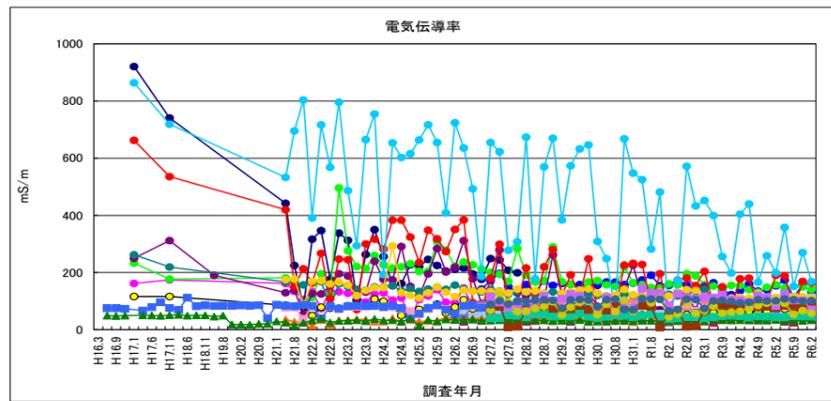


図 2-36 電気伝導率（浸透水・地下水）

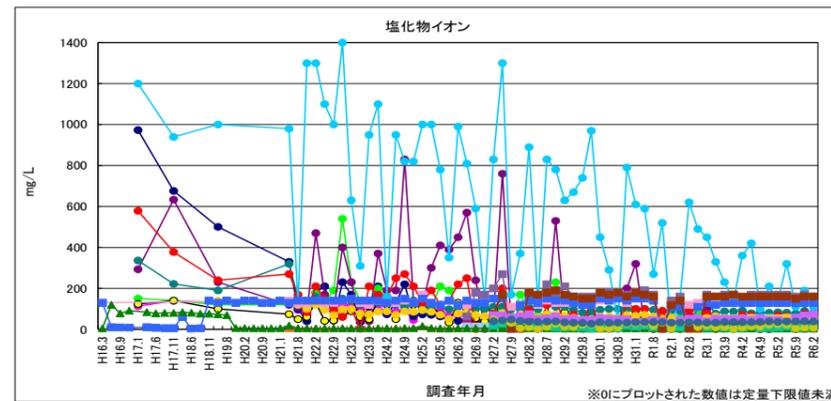


図 2-37 塩化物イオン（浸透水・地下水）

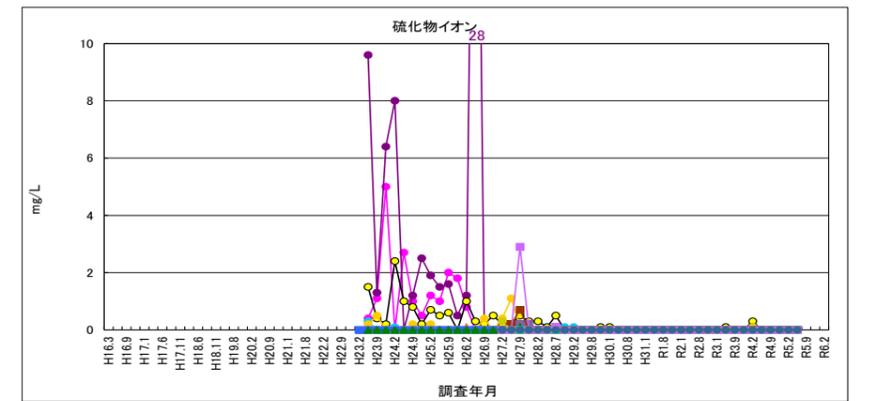


図 2-38 硫化物イオン（浸透水・地下水）



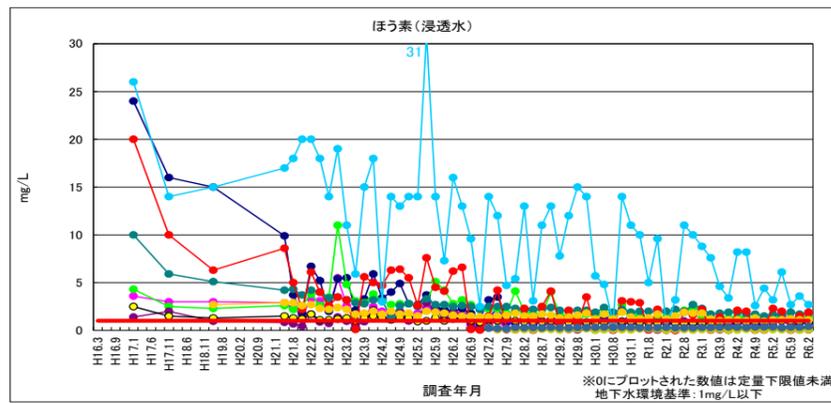


図 2-39 ほう素 (浸透水)

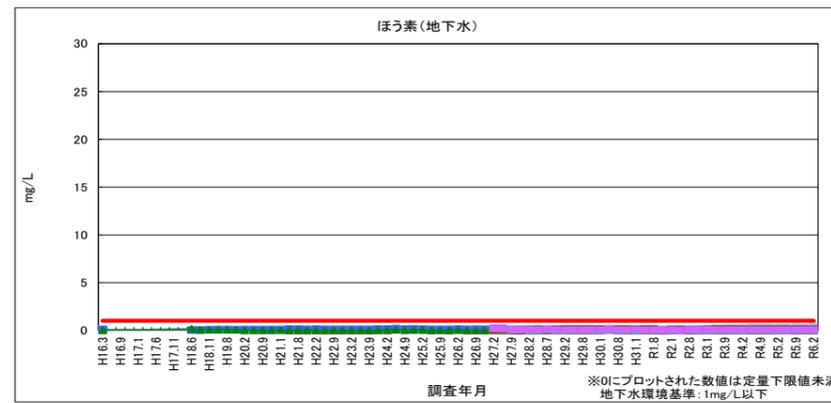


図 2-40 ほう素 (地下水)

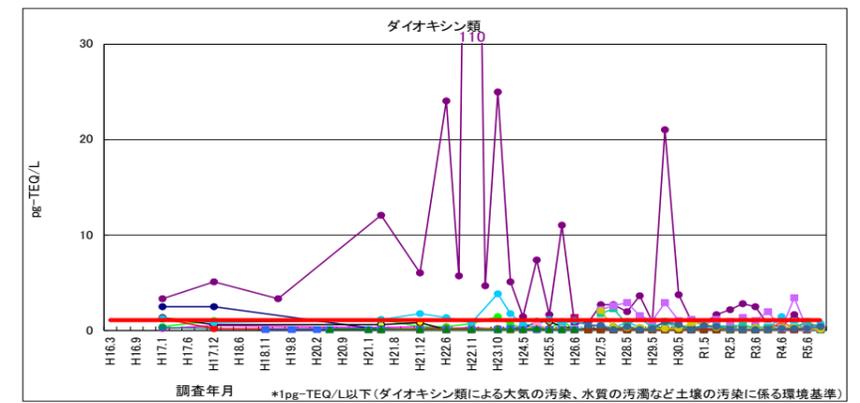


図 2-41 ダイオキシン類 (浸透水・地下水)

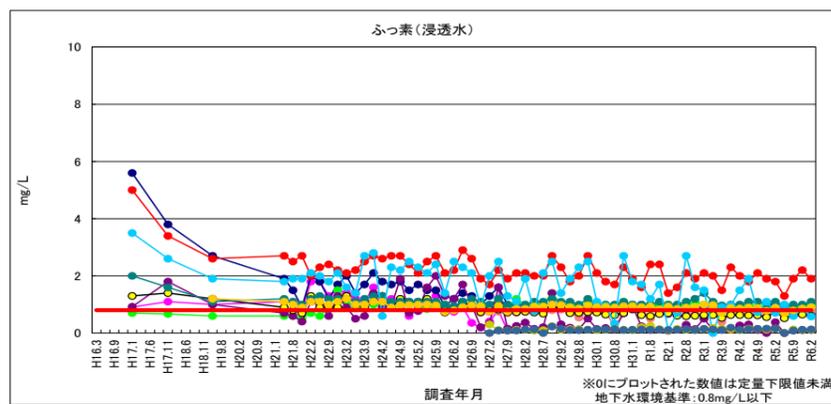


図 2-42 ふっ素 (浸透水)

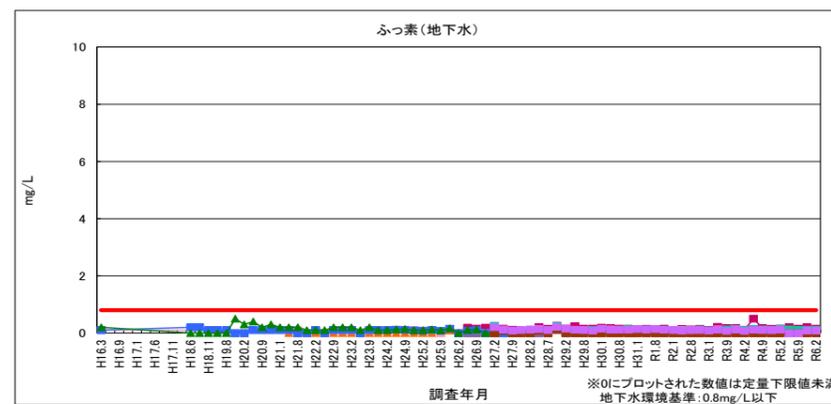
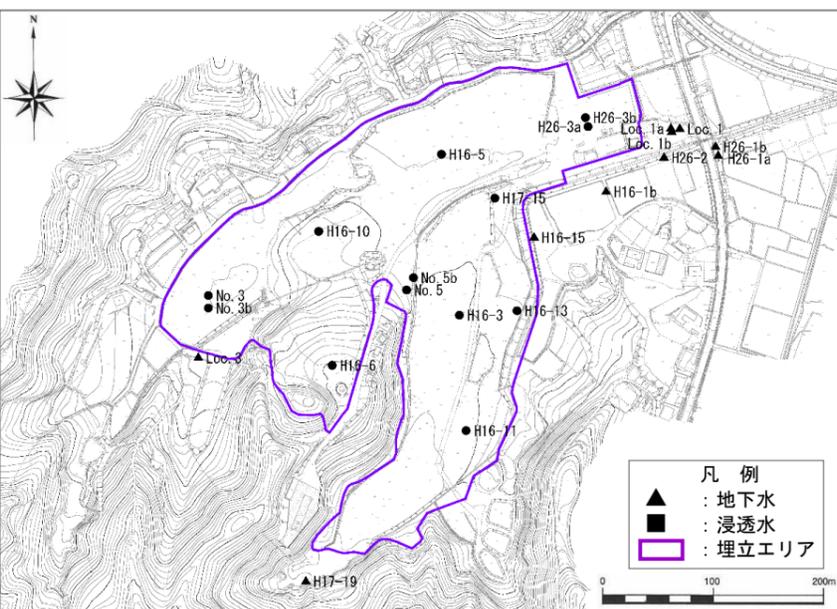
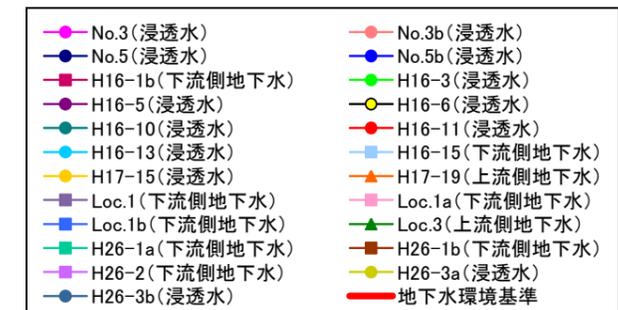


図 2-43 ふっ素 (地下水)



※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更

図 2-44 浸透水及び地下水水質調査地点図

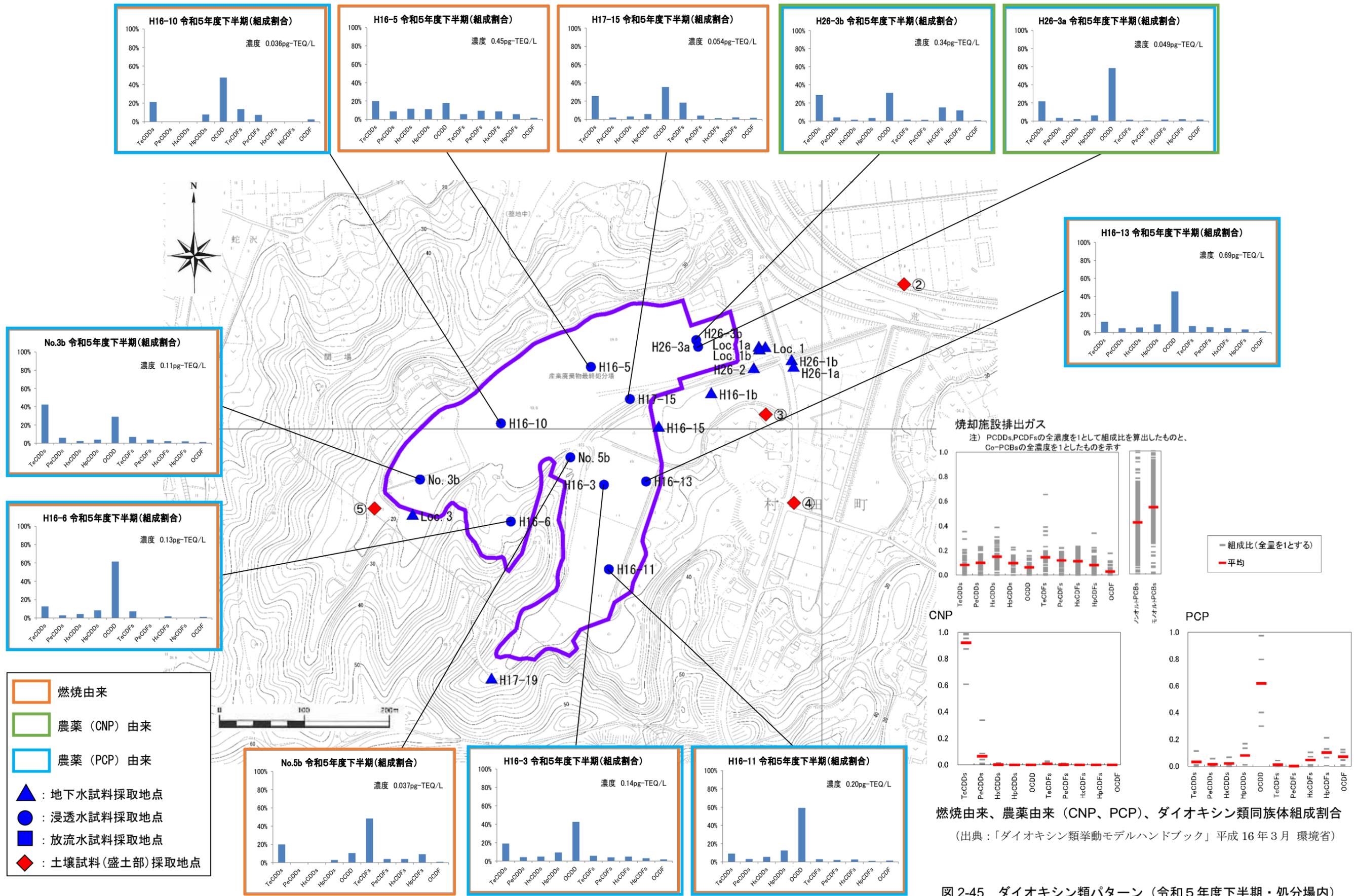


図2-45 ダイオキシン類パターン (令和5年度下半期・処分場内)

2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング

2.3.1 発生ガス調査

処分場の状況を確認するため、処分場内の観測井戸 17 地点 (7-2、7-4、No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b) で硫化水素等の発生ガスについて毎月調査を実施した。その結果は、次のとおりであった。

(1) 発生ガス

- 硫化水素濃度は、0.2 未満～80ppm の範囲で測定され、期間中では H16-6 で 80ppm (令和 5 年 10 月、11 月) と他の地点より高い値であった。
- メタン濃度は、0～93vol% の範囲で測定され、期間中では No.3 で 93vol% (令和 5 年 12 月) と他の地点より高い値を示した。
- 発生ガス量は、0.01 未満～1.0L/分の範囲で測定された。発生ガス量が定量下限値以上であった各観測井戸の最大量は、H16-6 で最大 1.0L/分、7-4 で最大 0.04L/分、No.3 で最大 0.02L/分だった。モニタリングを行っている 17 地点のうち 14 地点 (No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2) においては、0.01L/分未満で推移しており、ガスの発生は非常に少ないが、廃棄物埋立区域の内部では、微生物による廃棄物の分解反応が継続していると考えられる。

表 2-6 発生ガス調査の濃度等範囲

調査箇所	調査項目	硫化水素 (ppm)						二酸化炭素 (%)						酸素 (%)						メタン (%)						ガス発生量 (L/分)																		
		～令和4年度		令和5年度上半期		令和5年度下半期		～令和4年度		令和5年度上半期		令和5年度下半期		～令和4年度		令和5年度上半期		令和5年度下半期		～令和4年度		令和5年度上半期		令和5年度下半期		～令和4年度		令和5年度上半期		令和5年度下半期														
		最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大													
北側	高	H16-6	0.2	未満	100	22	80	40	80	0.25	未満	14	0.6	1.1	0.5	0.9	6	未満	6	未満	6	未満	6	未満	6	未満	6	未満	6	未満	2	60	17	30	22	31	0.01	未満	2.0	0.21	0.52	0.04	1.0	
		No.3	0.2	未満	170	0.2	未満	1.0	0.2	未満	1.8	0.25	未満	10	1.8	4.9	0.4	2.2	6	未満	21	6	未満	9	6	未満	17	0	100	20	78	8	93	0.01	未満	0.38	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満	0.02	
		No.3a	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	3.2	0.5	1.7	0.3	1.0	6	22	18	20	19	21	0	5	0	2	0	0	0.01	未満	0.09	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満		
		No.3b	0.2	未満	3.0	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	5.9	1.4	3.1	0.9	2.4	6	未満	21	11	14	12	17	0	52	11	27	8	24	0.01	未満									
		H16-10	0.2	未満	450	0.2	未満	0.2	未満	0.6	0.25	未満	20	0.25	未満	0.3	0.25	未満	0.4	6	未満	21	17	19	14	19	2	92	3	10	5	34	0.01	未満	2.5	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満	
		H16-5	0.2	未満	23	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	14	1.8	8.8	0.3	1.7	6	未満	21	8	14	10	21	0	94	0	42	0	25	0.01	未満	8.4	0.01	未満	0.03	0.01	未満	0.01	未満	
南側	低	H26-3a	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	1.4	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	1.2	0.25	未満	0.3	0.25	未満	0.25	未満	10	22	17	20	20	21	0	8	0	8	0	1	0.01	未満	0.03	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満
		H26-3b	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	0.3	0.25	未満	0.25	未満	0.25	未満	6	未満	22	19	20	20	21	0	5	0	2	0	0	0.01	未満	0.03	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満	
	高	H16-3	0.2	未満	4.0	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	19	0.8	2.7	0.8	1.3	6	未満	20	13	16	15	18	0	75	14	28	12	28	0.01	未満	0.61	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満		
		H16-11	0.2	未満	1200	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	10	0.4	9.5	0.5	7.9	6	未満	22	10	19	8	21	0	90	0	4	0	24	0.01	未満	1.4	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満		
		No.5	0.2	未満	160	0.2	未満	14	0.2	未満	38	0.25	未満	30	8.3	15	7.6	13	6	未満	21	6	未満	6	未満	6	未満	8	0	70	0	20	0	29	0.01	未満	0.25	0.01	未満	0.09	0.01	未満		
		No.5a	0.2	未満	7.3	0.2	未満	14	0.2	未満	5.9	0.25	未満	16	3.9	14	3.8	12	6	未満	21	6	未満	14	6	未満	14	0	17	0	13	0	18	0.01	未満	0.01	0.01	未満	0.01	未満				
		No.5b	0.2	未満	0.7	0.2	未満	7.9	0.2	未満	6.0	0.25	未満	11	3.0	16	0.25	未満	14	6	未満	21	6	未満	16	6	未満	21	0	6	0	4	0	0	0.01	未満	0.01	未満	0.01	未満				
		H16-13	0.2	未満	33	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	50	2.9	6.2	0.25	未満	3.7	6	未満	20	7	12	10	21	1	80	35	45	0	43	0.01	未満	0.90	0.01	未満	0.02	0.01	未満		
		7-2	0.2	未満	1000	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	36	0.25	未満	7.4	0.25	未満	10	6	未満	22	6	未満	19	6	未満	21	0	63	0	12	0	10	0.01	未満	1.8	0.01	未満	0.01	未満
		7-4	0.2	未満	600	0.2	未満	17	4.7	10	0.25	未満	32	4.3	6.8	5.3	8.2	6	未満	21	6	未満	8	6	未満	9	0	66	25	45	28	42	0.01	未満	4.6	0.01	未満	0.05	0.01	未満				
		低	H17-15	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.2	未満	0.25	未満	3.0	0.6	1.8	0.3	0.9	6	未満	24	8	18	16	20	1	59	8	33	5	10	0.01	未満	0.07	0.01	未満	0.01	未満				

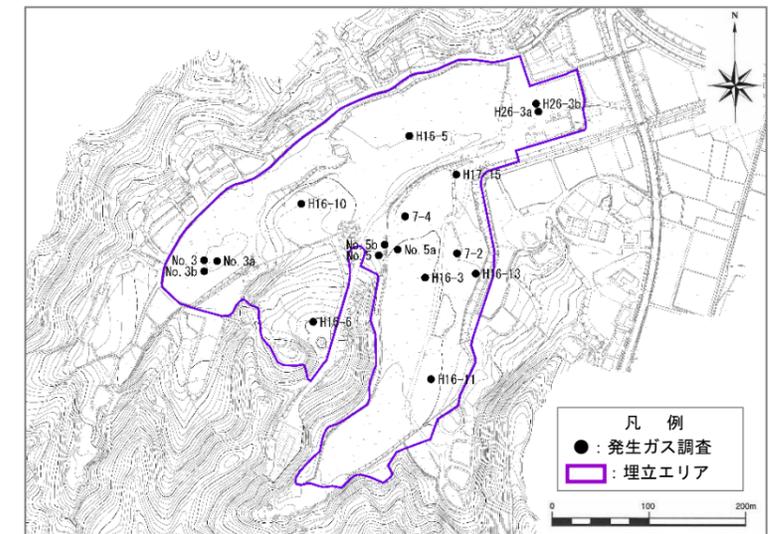


図 2-47 発生ガス調査地点図

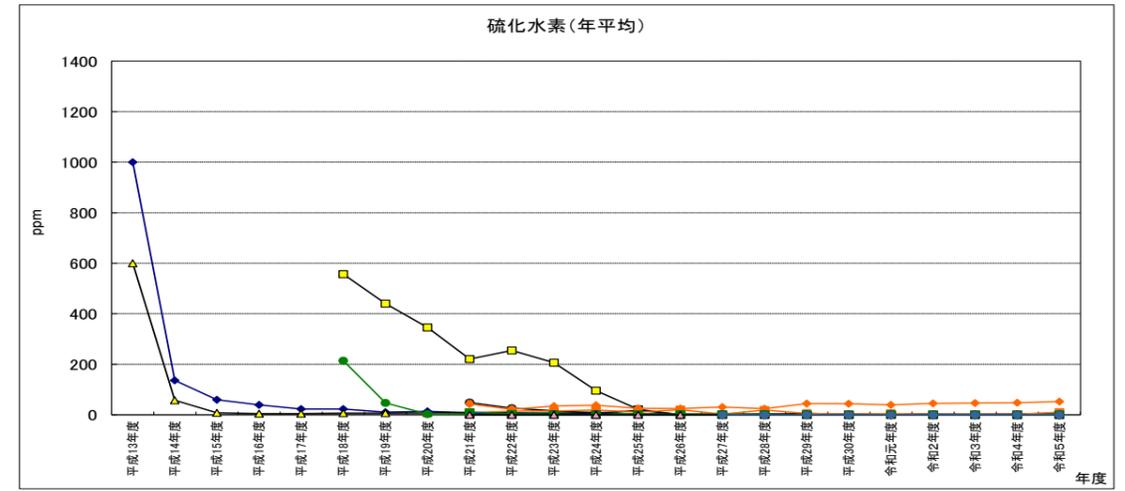
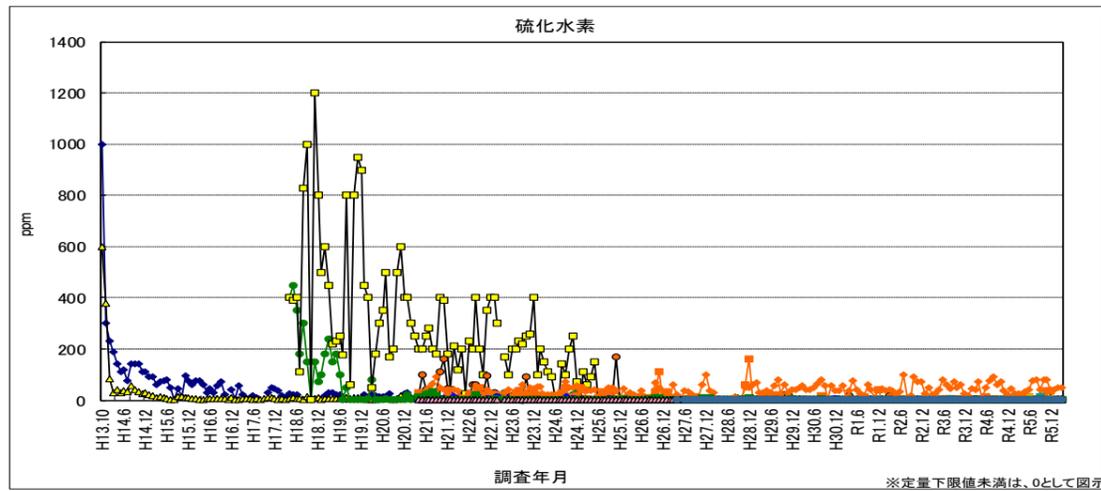
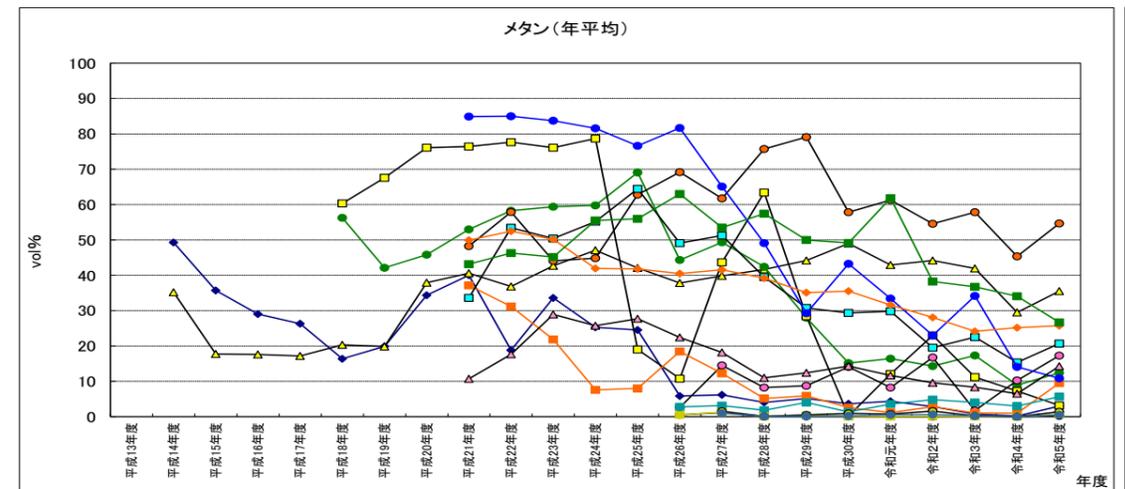
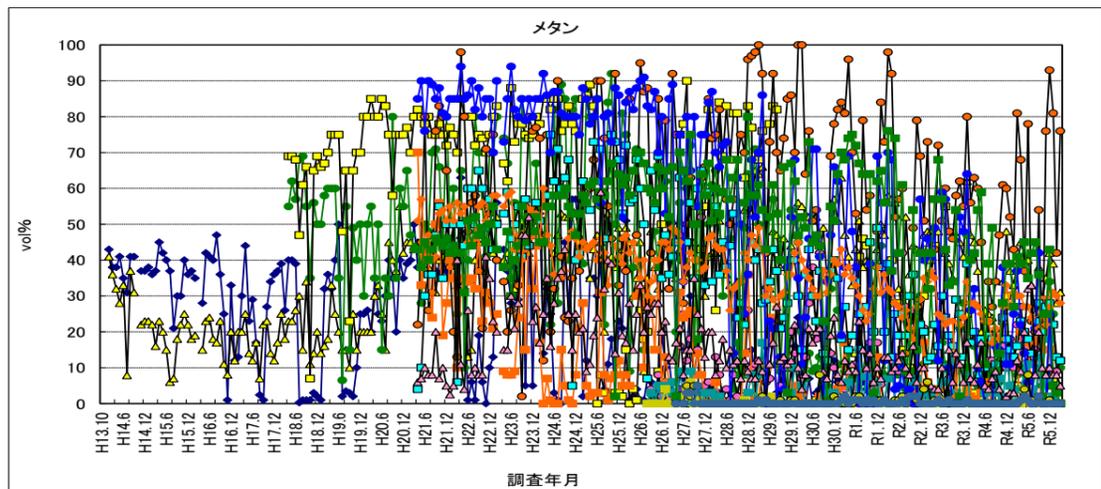


図 2-48 硫化水素（管頭下 1 m で測定）



- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3a
- No.3b
- No.5
- No.5a
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b

図 2-49 メタン（管頭下 1 m で測定）

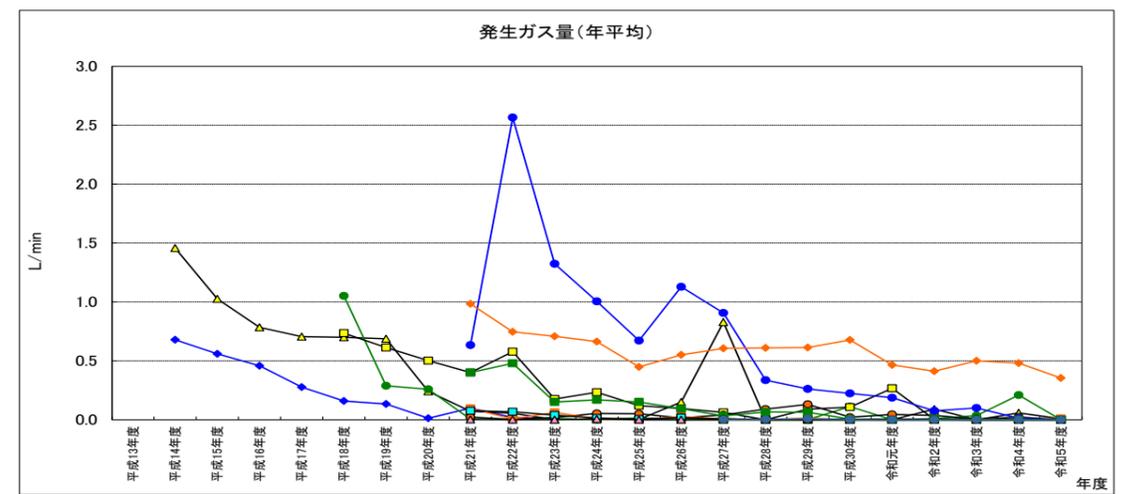
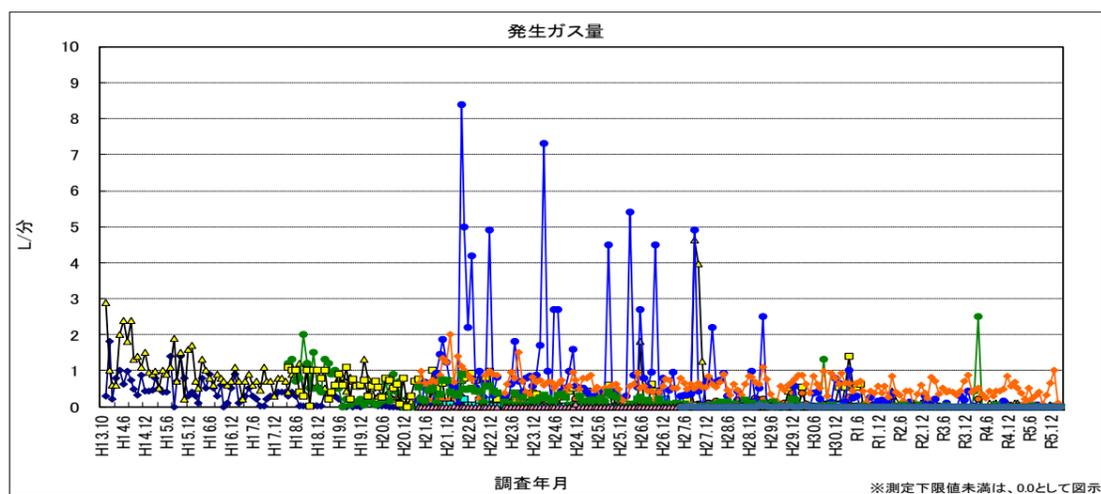


図 2-50 発生ガス量